



2020年1月30日

株式会社カインズ

RaaS スタートアップ企業 b8ta Japan との業務提携のお知らせ

株式会社カインズ（本社：埼玉県本庄市、代表取締役社長：高家 正行）は、RaaS（リテール・アズ・ア・サービス）のパイオニアである b8ta Japan（本社：東京都千代田区、カンントリーマネージャー：北川 卓司）と提携し、「IT 小売企業」として、お客様にとって「ストレスフリー」「パーソナライズ」「エモーショナル」となるお買い物体験施策の導入を進めます。

カインズは2019年、米国シリコンバレーのベンチャーキャピタルであるエボリューション・ベンチャーズ社（以下、EV社）と独占的戦略パートナー契約を締結し、最先端技術の獲得を進める体制を構築しました。同時に、このEV社等と組成したファンドを通じて、スタートアップ企業の b8ta Japan に出資し、お客様のお買い物体験価値を向上させる施策の検討を進めていましたが、b8ta Japan（ベータ・ジャパン合同会社）の設立により、カインズ店舗内での導入が実現しつつあります。

b8ta は2015年に米国サンフランシスコで創業し、「サービスとしての小売（RaaS：リテール・アズ・ア・サービス）」と呼ばれるソリューションを提供。2020年1月現在、米国内24店舗、ドバイに1店舗を構え、店舗内の区画を様々なブランドに定額で提供。実店舗への出品をまるでオンライン広告を掲載するのと同じくらい手軽なものにし、消費者に世界中の最もイノベーティブな商品を発見、体験、購入できる場を提供しています。

カインズは、2019年度からスタートさせた中期経営計画の柱のひとつ、デジタル戦略を実現するために、3つの目的「ストレスフリー」「パーソナライズ」「エモーショナル」を持って、デジタルトランスフォーメーションを進めています。b8ta Japan と共同することにより、カインズ独自開発のPB商品をはじめ、NB商品やベンチャー企業の開発品なども幅広く展示し、お客様が手に触れ、体験し、購入できる場を創造していきます。さらに、商品開発やマーケティングにも役立つ場となるよう、行動分析テクノロジーの活用も検討しています。

カインズは今後も、リアル店舗の強みとテクノロジーを掛け合わせて、お客様にお買い物体験価値を提供していきます。